

令和 7 年度 第 3 回 富里市行政改革推進審議会  
会 議 録

〔日時〕 令和 7 年 1 0 月 2 7 日 (月)

1 4 : 3 0 ~ 1 5 : 2 0

〔場所〕 本庁舎 3 階第 3 会議室

○出席者（順不同）

（委 員） 寒郡茂樹会長、町田弘副会長、本橋幸子委員、  
石川賢治委員、沖田健二委員

（事務局） 竹本企画財政部長、山崎経営戦略課長、須永課長補佐、  
粕谷主査、小澤主査

（傍聴者） なし

○次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 前回の外部評価の集計結果について

(2) 第 1 次政策実行計画事業(令和 6 年度)の外部評価について

4 その他

5 閉会

○配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1－1 「第 1 次政策実行計画(令和 6 年度)外部評価とりまとめ」
- ・ 資料 1－2 「委員からの御意見に対する回答」
- ・ 資料 2 第 1 次政策実行計画事業(令和 6 年度)事業概要及び自己評価シート
- ・ 資料 3 外部評価シート

## 会議録

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議題

#### (1) 前回の外部評価の集計結果について

##### 【会長】

- ・事務局から説明を求める。

##### 【事務局】

- ・外部評価の公表については、委員の皆様の外部評価シートをとりまとめ、後日、市公式ホームページに掲載する予定である。

##### 【会長】

- ・この件については、よろしいか。（委員、了承）

#### (2) 第1次政策実行計画事業（令和6年度）の外部評価について

##### 【会長】

- ・議題に関して事務局から説明を求める。

〈事務局より説明〉

##### 【会長】

- ・それでは、委員の皆様から意見を伺いたい。

##### 【委員】

- ・危機管理体制の強化について、防災・防犯メールの登録者数が減少している。しかし、防災無線が聞こえないという意見がある。災害時の情報伝達は非常に大事なことであるので、登録の勧奨を積極的に進めていただきたい。

- ・有害鳥獣からの農作物被害防止について、被害額が減少していることは、取組の成果であると評価できる。一方で、住宅街においても、ハクビシンやカラスなどの被害も聞かれる。住宅地でも、住民の不安を払拭するよう、対策をお願いしたい。
- ・分別収集、資源化の推進について、ごみ分別アプリの登録者数は目標値を達成しているが、ごみの正しい捨て方などが本来であれば成果指標であると思う。この事業に限ったことではないが、指標については、行動指標と成果指標の2つの視点があっていいのではないかなと思う。
- ・多文化が共生するまちづくりについて、相談件数は指標を大幅に超えているが、実績値を開庁日で割り返すと、1日平均2件程度の相談件数である。単純に費用対効果などの効率面だけで評価することは適切ではない部分もあるが、常に問題意識をもって事業に取り組んでいただきたい。

#### 【事務局】

- ・防災メールの必要性は十分理解しており、担当課においても登録者増に向けて取り組んでいる。併せて、防災行政無線が聞こえなかった際は、防災行政無線情報フリーダイヤルや戸別受信機にも対応しており、防災行政無線が聞こえないということがないよう取り組んでいる。
- ・住宅地での有害鳥獣の対策については、環境課で対応している。
- ・ごみ分別アプリは収集日の通知ができるので、収集以外の日にごみが出されることは減っていると聞いている。
- ・外国人相談窓口については、合理的な方法についても検討していく。

#### 【委員】

- ・危機管理体制の強化、有害鳥獣からの農産物被害の防止、多文化が共生するまちづくりについては、同様の意見である。
- ・通学路の安全対策について、消耗品はどういったものか。

#### 【事務局】

- ・申し訳ないが、通学路の安全対策の消耗品については把握していない。

#### 【委員】

- ・富里農業の気候変動対応について、令和6年度からの事業ということではよろしいか。

【事務局】

- ・気候変動の対応については、令和6年度からの事業である。

【委員】

- ・指標の50とあるが、これは何か。

【事務局】

- ・補助金交付件数50件を見込んでいた。

【委員】

- ・企業の誘致については、就業人口の促進、財源確保に資するので、引き続き促進していただきたい。
- ・産業の振興について、指標の各アクションプラン評価平均点3点とはどういう意味か。

【事務局】

- ・産業振興推進会議において、商工観光課が担当する事業、農政課が担当する事業について、委員の皆様には評価をしていただいている。その評価項目が5段階評価となっており、平均点の3点を指している。

【委員】

- ・観光・交流拠点づくりについて、令和6年度の実績値が前年に比べると大きく伸びているが、その要因は。

【事務局】

- ・上質なイベントが増えてきており、来場者数の増につながった。

【委員】

- ・森林の再生と保全について、危険木処理費とあるが、地権者が不明な土地の危険木についての対応はどうしているのか。

【事務局】

- ・こちらは、森林法に基づく森林の危険木について活用できるものだが、土地の所有者がわからない危険木で相当程度危険だと判断できれば、道路管理者、公園管理者など、それぞれの管理者が最低限の範囲で行

うことはある。

【委員】

- ・消防団の消防力向上について、新たに消防車を購入し、その消防車で団員が訓練をしているのを見たことがあるが、非常に団結力があり良かった。新規車両の購入は、非常に効果があると思う。
- ・市として外国人のケアをしているのは良いと思う。しかし、自治会に加入する外国人が減ってきており、小さい団地だと外国人世帯の割合が多くなることもあり、自治会が解散となる場合もある。少しずつ状況が異なってきていることはお伝えしておきたい。

【事務局】

- ・外国人の方への支援としては、外国人相談窓口、市公式ホームページなどでの生活情報、防災情報、ごみの出し方、日本語教室の案内、生活マナーマニュアル等の配布を行っている。

【委員】

- ・災害対策の強化、危機管理体制の強化について、平時の備えが非常に重要であることから、常に緊張感をもって継続して行ってほしい。
- ・気候変動については、令和6年度からということだが、気候変動の中で農業を続けていくことが大変になるので、更なる周知をお願いしたい。
- ・有害鳥獣については、資格をもって対応できる人材を確保していかなければならないと思う。
- ・児童生徒への個のニーズ支援について、小中学校の子供の数は減ってきているが、個別支援の子供は増えている。力のある指導員を確保して行ってほしい。

【事務局】

- ・災害対応については、イベントを通じて広げていければと考えている。
- ・気候変動の周知については、農家組合を通じた回覧を実施しているが、更なる周知に努めていく。
- ・有害鳥獣の人材確保についても、担当課で努力している。
- ・個別指導補助員については、各小中学校に配置している。

### 【委員】

- ・ 3年前と比較すると、富里市内で商工業者数が250事業所増えている。なぜ増えているか推測ではあるが、外国人のレストランが増えている。これからも外国人で起業する方が増えていくことが予想される。農業分野でも、外国人材を使っている方は多くいて、その方々と共生していかなければならないと考える。
- ・ 現状は、担当課の窓口、マニュアルなどで、それぞれのサポートはしているが、富里市は外国人市民の割合も高いので、担当課を作らざるを得ないのではないかと思う。

### 【事務局】

- ・ ごみ分別アプリは多言語での案内をしているが、分別の習慣がない方もいらっしゃるので、パンフレットなどで案内はしている。
- ・ 外国人児童・生徒が多いことから、県に対して外国人児童生徒支援に係る人員の配置等について要望をしているが、十分な配置はされておらず、市の予算でボランティア等をお願いして、日本語支援が必要な外国人児童・生徒のケアをしている。
- ・ 多文化共生の担当課の要望については、総務に伝える。

### 【委員】

- ・ 富里市が県内の市町村の中で人口に占める外国人の割合が高いという記事を見たことがある。外国人専門に対応する組織があったらいいのではないかと思う。

### 【委員】

- ・ 日本人と外国人の間でいろいろな問題が発生してくる前に、各課対応ではなく、司令塔となる推進力になるような組織を設けていく必要があるのではないかと思う。

### 【事務局】

- ・ 富里市は、千葉県内で外国人比率が一番高い。
- ・ 安全対策については、成田警察署、成田土木事務所と情報共有を図りパトロールを実施しているほか、県警のヘリコプターでヤードの確認を行うなど、警察と連携しながら進めている。

#### 4．その他

- ・来年度の外部評価については、各課からのヒアリングができるような形を検討していく。

#### 5．閉会